

岩木川ダム 統管だより

061号
2022年
(令和4年)
5月31日

春のライトアップ
レッドライトアッププロジェクト2022×津軽ダム
津軽ダムブルーライトアップ



浅瀬石川ダム・津軽ダム

春のライトアップ☆

安全利用点検を実施・洪水対応演習
警報訓練のお知らせ・今月の“つがるの昔っこ”

＊ 浅瀬石川ダム “春のライトアップ” ＊ 令和4年4月28日(木)から5月5日(木)までの8日間、浅瀬石川ダム春のライトアップを実施しました。

今回は視点場をおなじみの下流“思い出の広場”に加え、天端脇からイメージキャラクターのあちゃんが春を満喫するアニメーションを見ることができる2箇所をご用意！アニメーションには、のんびり～なBGMを付けて投影しました。



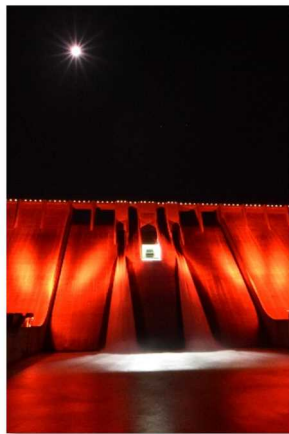
浅瀬石川ダム資料館前の桜はライトアップ期間に満開を迎え、夜桜も一緒に楽しむことができました。モコモコの桜！



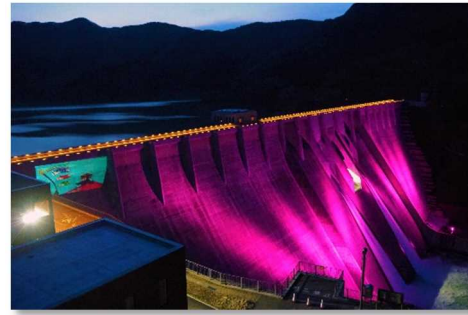
ライトアップ前日の4月27日からオリフィスゲートからの放流も始まり、ライトアップに一花添えました

世界赤十字デーである5月8日(日)津軽ダムは、日本赤十字社青森県支部が実施するレッドライトアッププロジェクト2022に参加しました。

このプロジェクトは、先人達が歩んできた『人道』の歴史に思いを馳せるとともに紛争や災害で苦しむ人々に寄り添い、『人道』への理解を深めていただくことを目的に毎年この日を中心に実施されています。

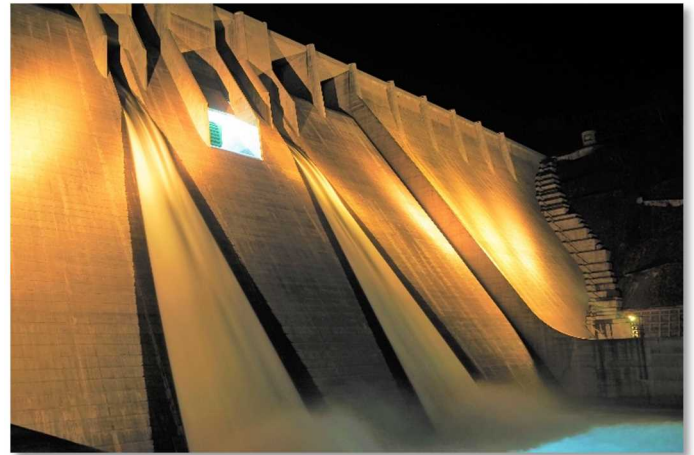


春のライトアップとはがらりとイメージを変え、厳かな雰囲気



初日の寒沢展望台では、点灯の瞬間「え！すこ～い！！」との歓声があがりました☆

＊ ＊ ＊ 津軽ダム 春のライトアップ



自然越流の勢いを間近で体感。「怖い」との感想も

津軽ダムも、浅瀬石川ダムと同期間で“春のライトアップ”を実施しました。

4月29日(金)昼・夕のニュースでライトアップの様子が紹介され、津軽ダムは連日多くの来訪客で賑わいました。

令和4年5月12日(木)津軽ダムでは、世界中の医療従事者等の皆様へ感謝と敬意を表してダム堤体を青色で灯しました。5月12日は、近代看護を築いたフローレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなんで「看護の日」と制定されています。



イギリス国営医療サービスのシンボルカラーが青色であることを理由に、ロンドンを中心にブルーライトアップが始まったと言われています

津軽ダム BLUE LIGHT UP



社会活動維持に貢献して下さっているすべての皆様へ感謝の気持ちを込めて

安全利用点検を実施しました

青森県内の国土交通省3事務所（青森河川国道事務所・高瀬川河川事務所・岩木川ダム統管理事務所）では、河川がレクリエーション活動の場として多くの方々に利用されていることを踏まえ、皆様が安全安心に水辺を利用できるよう毎年春の大型連休前と夏休み前に一斉点検を行っています。青森県内の河川公園など3事務所全体で41ヶ所を点検しました。

当事務所では令和4年4月18日（月）に津軽ダム、4月19日（火）に浅瀬石川ダムの周辺に位置するダムサイト公園などに危険箇所がないかを施設管理者（占有者）と合同で実施しました。

点検の結果、当事務所管内では危険箇所等の異常は認められませんでした。利用者の皆様におかれましては、安全には十分ご注意ください。水辺や施設をご利用いただくようお願いいたします。



▲虹の湖公園ふれあいの広場(黒石市)での点検の様子

～洪水対応演習を実施～ 本格的な洪水期を前に防災体制を確認

岩木川ダム統管理事務所（浅瀬石川ダム・津軽ダム）では令和4年5月13日（金）、出水時の防災体制に万全を期することを目的とした『洪水対応演習（ダム管理演習）』を実施しました。演習では、ダムの計画した規模を超える異常洪水を想定し、「情報伝達訓練」「ダム操作演習」「下流河川事務所との情報共有訓練」「ダム放流警報施設からの情報提供の机上訓練」など、本番同様の情報伝達や、洪水対応を実施しました。演習を終え、当事務所長の楨田は「毎年、異常ともいえる大きな洪水が、全国各地で発生しています。この津軽地方でもいつ発生するかわかりません。こういう異常事態にならないことを祈っていますが、もし発生した場合でも演習したとおりに処理を実施し、事務所ホームページや各警報所を通じ流域地域住民へ情報提供をしていきたいと思えます。」と話されました。

演習風景SNAP



9:00～16:40まで行われた演習の一コマを写真で紹介します



- ① 降雨予測からの洪水予測をもって、注意体制から警戒体制への移行を報告
- ② ゲート設備・放流警報設備の点検を行います
- ③ 時系列に状況をホワイトボードに記入し、事務所内で情報共有します
- ④ 被災情報を地図や写真を用いて支部長へ報告
- ⑤ 越流に関する周知を警報車での放送を使用して周知します
- ⑥ 異常洪水の情報を受けて記者発表を行います

**震災復興
進もう！次の東北へ**

いのちとくらしをまもる
防災減災

「ダム警報訓練」を実施します

～大規模洪水時を想定し、避難行動に繋げていただくために～

浅瀬石川ダム・津軽ダムでは、適切な避難行動を促し人的被害を軽減するため、ダム下流地域の皆様に警報情報が確実に伝達されるよう“ダム放流警報設備”を設置しています。

今回の訓練では、警報設備(スピーカ及びサイレン)を実際に動作させます。また、スピーカによる音声放送は、※「緊急放流」を想定した内容で放送します。

地域の皆様におかれましては、是非この機会に放送内容をご確認いただき、水害に対する防災意識の向上と平常時からの備えにご活用ください。また、地域の皆様へは試験中の警報音等について、ご理解とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

※「緊急放流」とは、計画以上の洪水によりダム湖に水を貯められなくなり、ダム湖に流れ込んでくる水をそのままダムを通過させ下流に流すことです。ダム湖に流れ込んでくる水量以上を下流に流すことはありません。

試験日時

浅瀬石川ダム: 令和4年6月9日(木)9:00～17:00

(予備日: 令和4年6月16日(木)9:00～17:00)

津軽ダム: 令和4年6月8日(水)9:00～12:00

(予備日: 令和4年6月15日(水)9:00～12:00)

12:00～13:00の間の訓練は実施しません。また、気象状況等により、吹鳴試験を延期する場合があります。延期の場合は、事務所ホームページや警報設備にてお知らせいたします。

～詳しくは、岩木川ダム統管管理事務所ホームページをご覧ください～



今月の昔っこ(昔話)

岩木川ダム統管管理事務所のホームページでは、毎月1話津軽地方に伝わる昔話を標準語・津軽弁の2パターン作成、公開しています。事務所職員が描いた温かみのあるイラストとともに地域に伝わるお話をお楽しみください。

第3作目となる5月のお話は「嫁の願掛け」です。

嫁いびりがひどいおばあさんのことが憎くなった嫁。ある願掛けを行う日々で変わっていく心模様を描いた感動ストーリー。



編集後記

春のライトアップ3種が終わりました。TVニュースで紹介された効果なのか、とても多くの方にお越しいただいたという実感があります。実はわたくし、津軽ダムライトアップの撮影場所がルーティン化しつつあります(そのせいで代わり映えない写真ばかりですが…)。今回はそんなルーティンを紹介。

まずは夕暮れの寒沢展望台からスタート!山の稜線が見えて好きなんです。ここで春のライトアップ、ブルーライトアップの時にお話してくれた方がいらっちゃって嬉しかったです☆次に展示室前やぼっこり出ている展望スペース。こちらは結構皆様いらっちゃってますね。そして最後は、白神が故郷橋パークへ。放流バルブ室の上で撮ったり、橋の上で撮ったり、石碑の前に行ってみたりウロウロ。カメラの技術も迷走中～。綺麗な写真を撮れるよう次回もガンバリマス! (対馬)

編集・発行



国土交通省 東北地方整備局
岩木川ダム統管管理事務所
(浅瀬石川ダム・津軽ダム)

〒036-1422
青森県中津軽郡西目屋村大字居森平
字寒沢138-2

TEL 0172-85-3035

FAX 0172-85-3061



(ホームページ) (Twitter)

岩木川ダム統管管理事務所
ホームページアドレス

<http://www.thr.mlit.go.jp/iwakito/>

公式Twitter @mlit_iwakito